



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月11日

上場会社名 オーウイル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3143 URL <https://owill.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊達 一紀
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 青柳 あゆみ TEL 03 (5772) 4488
 定時株主総会開催予定日 2020年6月24日 配当支払開始予定日 2020年6月25日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年3月期の連結業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	32,685	4.2	674	13.1	724	22.2	472	14.8
2019年3月期	31,375	1.1	595	35.6	593	28.5	411	37.2

（注）包括利益 2020年3月期 437百万円（△12.9%） 2019年3月期 502百万円（80.0%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	150.05	—	16.8	7.0	2.1
2019年3月期	130.73	—	16.8	5.3	1.9

（参考）持分法投資損益 2020年3月期 ー百万円 2019年3月期 ー百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	9,497	3,018	31.2	941.57
2019年3月期	11,224	2,706	23.6	842.11

（参考）自己資本 2020年3月期 2,965百万円 2019年3月期 2,652百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	△832	△75	262	1,385
2019年3月期	890	△67	△618	2,040

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00	125	30.6	4.7
2020年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00	141	30.0	5.0
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	45.00	45.00		35.4	

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	△8.2	600	△11.0	600	△17.2	400	△15.4	126.99

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 0社、除外 0社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2020年3月期	3,150,000株	2019年3月期	3,150,000株
2020年3月期	304株	2019年3月期	260株
2020年3月期	3,149,734株	2019年3月期	3,149,762株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	32,085	4.7	677	23.5	727	32.5	481	26.5
2019年3月期	30,644	0.5	548	26.5	549	18.9	380	27.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	152.95	—
2019年3月期	120.89	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年3月期	9,383		2,966		31.6		941.95	
2019年3月期	11,041		2,635		23.9		836.76	

(参考) 自己資本 2020年3月期 2,966百万円 2019年3月期 2,635百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(その他)

決算補足説明資料については、後日当社ホームページ上に掲載しますのでそちらをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報	4
(6) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 企業集団の状況	5
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
4. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
5. 個別財務諸表及び主な注記	17
(1) 貸借対照表	17
(2) 損益計算書	19
(3) 株主資本等変動計算書	20

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の長期化による影響が懸念されていたものの、雇用環境の改善や堅調な企業収益に支えられ、緩やかな回復基調が続いておりました。しかしながら、2020年に入って、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が顕著となり、個人消費及び企業活動が停滞し、国内外の経済環境は一転して厳しい状況となりました。

当社グループの主力マーケットである食品飲料業界におきましては、少子・高齢化により国内市場が縮小化していることから、メーカー各社は、多様化した個人ニーズや社会の変化に対応した商品開発に注力し、市場の活性化を図っておりますが、原材料価格や物流コストは引き続き上昇傾向にあり、経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは「お客様に十分ご満足のゆく商品・サービスの提供」を品質方針として、安心かつ安全な商品を提供することを第一に品質管理体制の強化を図り、お客様のニーズに合わせた安定的な供給の継続及びサービスの向上に努めてまいりました。当連結会計年度におきましては、特に既存事業の深耕ならびに環境事業の拡大に注力し、企業価値向上に努めてまいりました。卸売事業において、主力カテゴリーである農産物加工品や乳及び乳製品の販売数量が増加したこと、また、環境関連ビジネスにおいて、取扱い商材の1つである大型シーリングファンの成約件数が大幅に増加したことにより、当連結会計年度の売上高は32,685,227千円（前期比4.2%増）となりました。利益面においては、運賃や諸経費などの物流経費が増加したものの、売上増加にともない売上総利益が増加したことにより、営業利益は674,222千円（前期比13.1%増）となりました。また為替差益を計上したことから営業外収益が増加し、経常利益は724,726千円（前期比22.2%増）となりました。子会社(株)サンオーネストにおいて、一部固定資産の減損処理を行い、税金等調整前当期純利益は702,320千円（前期比18.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は472,612千円（前期比14.8%増）となり、増収増益という結果となりました。

また、総資産は9,497,242千円（前期末比15.4%減）、純資産は3,018,406千円（前期末比11.5%増）となり、自己資本比率は31.2%となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

<卸売事業>

当連結会計年度の清涼飲料市場は、2019年4月から始まった大型PET製品の価格改定や7月の記録的な長雨や冷夏の影響を受けて、販売数量が5年ぶりのマイナス成長になるなど厳しい状況が続きました。メーカー各社は自社の主要ブランドを軸にした商品展開を推し進めることに加えて、高まる健康志向のニーズに対応した商品開発に注力し、事業基盤強化を図っております。また、清涼飲料業界挙げての資源循環型社会形成のための取り組みが本格化しており、地球環境に配慮した事業活動を展開しております。

このような状況のもと、当社グループは、取引先の多様なニーズに対応すべく、国内外から安全で安心な原材料・資材を確保し、安定供給体制の維持に努めました。既存取引先へのサービス向上はもちろんのこと、新規商材の発掘・拡販に注力し、取引先の拡大や利益率改善を図ってまいりました。冷夏の影響によりPB飲料製品の販売数量が減少したものの、価格競争力のある輸入品調達への拡大に努め、食品飲料メーカー向けの取引が拡大したことにより、主力商品である果汁や野菜汁などの農産物加工品や乳及び乳製品の販売数量が増加いたしました。また、環境関連ビジネスにおいては営業体制の強化や展示会への出展を積極的に行ったことにより、排水浄化プラントや物流倉庫などの大型施設で使用される大型シーリングファンの売上が伸長いたしました。

この結果、卸売事業の売上高は32,172,960千円（前期比5.5%増）となりました。

<製造販売事業>

当連結会計年度におけるアイスクリーム市場は、冷夏の影響を受けたものの、消費者にとってコストパフォーマンスの良いデザートとして支持されていることに加えて、価格改定後の影響が最小限に抑えられたことから、前年比1%減の5,000億円規模を維持しております。メーカー各社は、消費者の多様なニーズに応える商品開発を推し進めておりますが、原材料費などの製造コストや物流費の上昇により、収益確保が難しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、安心かつ安全な商品の提供を第一に、素材本来の味・香り・色をそのまま表現できるアイスクリームの開発に注力し、NB商品の販売強化ならびに取引先のニーズに合ったPB商品の提供に努めてまいりました。カップアイスの販売数量が増加したものの、主な販売先であるカフェチェーンや外食向けの業務用パルクアイスや菓子メーカー向けのPB商品の受注が減少したことから、製造販売事業の売上高は706,658千円（前期比1.9%減）となりました。

<その他の事業>

その他の事業につきましては、F C事業がありますが、当社グループは東京大手町地区にてコンビニエンスストアを2店舗経営しております。今後の事業展開を見直し、2019年3月に1店舗、9月に1店舗閉店したことにより、その他の事業の売上高は496,597千円（前期比38.7%減）となりました。

(注) セグメントの売上高には、セグメント間の取引を含んでおります。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は、主に現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少により8,199,992千円（前期末比17.3%減）になりました。また固定資産は、差入保証金が増加したものの、投資有価証券の時価が前期に比べ下落したことにより1,297,249千円（前期末比1.3%減）になり、この結果、当連結会計年度末における資産は9,497,242千円（前期末比15.4%減）となりました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は、主に買掛金、未払金の減少により、4,995,604千円（前期末比31.5%減）となりました。また固定負債は、主に長期借入金の増加により1,483,231千円（前期末比20.8%増）となりました。この結果、当連結会計年度末における負債は6,478,835千円（前期末比23.9%減）となりました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、主に利益剰余金の増加により、3,018,406千円（前期末比11.5%増）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,385,681千円（前期末比32.1%減）となりました。

当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、832,793千円（前期は890,568千円の収入）となりました。税金等調整前当期純利益の増加や売上債権が減少したものの、前連結会計年度末が休日であったことに加えて、果汁などの農産物加工品の仕入債務が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、75,271千円（前期比11.6%減）となりました。これは主に有形固定資産の取得にともなう支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、262,803千円（前期は618,148千円の支出）となりました。これは主に長期借入れによる収入によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	第30期 2016年3月期	第31期 2017年3月期	第32期 2018年3月期	第33期 2019年3月期	第34期 2020年3月期
自己資本比率 (%)	25.0	23.8	20.3	23.6	31.2
時価ベースの自己資本比率 (%)	29.1	29.2	38.5	31.9	31.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	2,579.6	689.4	—	212.0	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	6.2	30.7	—	88.6	—

※ 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数により算出しております。

2. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

3. 第32期及び第34期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため、記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による企業活動の停滞や、世界的な感染症蔓延による経済の下振れリスクなど、景気の先行きは不透明感が増しております。また、少子高齢化による国内市場の縮小や新興国市場の成長鈍化が経済全体に与える影響も大きく、企業は収益構造の転換を迫られており、今後の重要な課題となっております。一方で、当社の主力マーケットである食品飲料業界においては、各国間の貿易協定の締結などにより、食品原料流通の国際化が加速していることに加え、新興国の食料需要増加や異常気象等の気候変動により農産物の需給バランスに変化が生じるなど、食品原料の調達は激しさを増していくと思われまます。また、国内だけでは完結できない地球環境に配慮した様々な取り組みなど、社会的な課題にも対応を求められております。

このような状況下、当社グループは、国内及び海外市場の動向や消費者の多様なニーズを迅速に捉え、食の安全性の確保と安定供給の継続を第一に、顧客サービスの充実に努め、引き続き既存事業の深耕に注力してまいります。また、既存取引の関係を活かした関連事業の多角化を図り、特に自然環境に配慮した環境事業の強化を図ってまいります。2021年3月期におきましては、事業の選択と集中を加速し、「サービス、クオリティーの向上による既存事業の基盤強化」「ワンストップビジネスモデルの確立」「戦略商品の更なる拡販及び新規輸入品の開発」

「中期的な成長分野となる新規事業及び環境事業の拡大」をテーマとした予算編成方針のもと、予算を策定しております。2021年3月期通期の業績見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う外出自粛による消費低迷の影響を勘案し、売上高30,000,000千円（当年同期比8.2%減）、営業利益600,000千円（当年同期比11.0%減）、経常利益600,000千円（当年同期比17.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益400,000千円（当年同期比15.4%減）を見込んでおります。感染症の影響が長期化した場合は、前述の収益が減少する可能性があります。そのような状況下におきましても当社グループは、継続した安定供給を行うのはもちろんのこと、当社の強みであるバリエーションに富んだ商材の拡販や新規及び環境事業の積極展開により、収益減少を最小限に抑え、持続的な企業価値向上に努めてまいります。

(5) 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報

当社グループでは、感染リスク低減に向けて、不要不急な出張、面談等の延期または中止、在宅勤務の奨励等の対応を行いながら、食品原料の安定調達を図るべく、取引および生産を継続しております。

(財務への影響について)

当社において現状、現預金等の資金は十分にあり、事業活動に影響を与えることはないと考えております。

(原料供給への影響について)

感染が拡大し、各国政府の要請等により事業活動及び行動の制限が強化された場合、各仕入先の生産体制や出荷、輸送、積荷の引き渡し等、サプライチェーンに影響が出る可能性があります。

当社グループは、今後も引き続き新型コロナウイルス感染症に関する情報収集及び対応を実施し、その影響の最小化に努めてまいります。

また、事業活動及び業績に新たに大きな影響等が見込まれる場合には、速やかに開示いたします。

(6) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主への利益還元を経営の重要課題と位置づけており、業績の伸長に沿った適正な利益配分の継続と安定的な配当水準の維持を基本方針としております。

当期の配当金は、当初公表させていただいている通り、1株当たり45円を予定しております。なお、次期の配当につきましても、上記の方針を踏まえ、1株につき45円の年間配当金とする予定であります。

2. 企業集団の状況

当社グループは、オーウイル株式会社(当社)及び子会社である株式会社サンオーネスト、並びに海外子会社のO'WILL(ASIA)HOLDINGS PTE.LTD.、J.S.O'will, Inc.にて構成されており、その主な事業内容は以下の通りであります。

① 卸売事業

食品、飲料の製造や保存・加工などに使用するビタミン類、食品添加物、殺菌乳、野菜果実加工品等の原料や窒素、珪藻土等の資材を国内外より調達して取引先に販売するほか、大手量販店及びコンビニエンスストア向けPB(プライベートブランド)飲料製品の販売等を行っております。また、米国子会社においては、業務用ヒーターを扱っております。

② 製造販売事業

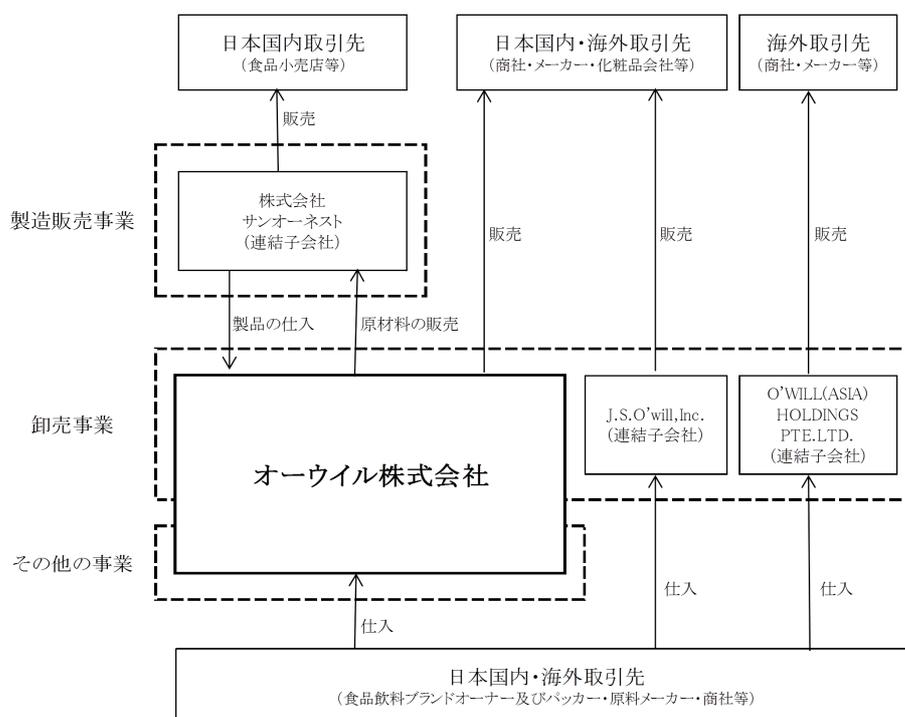
子会社の株式会社サンオーネストにて、アイスクリームの製造・販売を行っております。

③ その他の事業

コンビニエンスストアのエリアフランチャイジー事業等を行っております。

[事業系統図]

当社グループの事業内容を系統図によって示すと、次のとおりであります。



3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,040,402	1,385,681
受取手形及び売掛金	5,181,516	4,407,879
商品及び製品	1,705,241	1,791,801
未着商品	562,580	465,426
原材料及び貯蔵品	30,778	33,985
前渡金	190,684	11,985
未収入金	172,329	72,578
その他	32,270	35,453
貸倒引当金	△5,800	△4,800
流動資産合計	9,910,003	8,199,992
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	433,769	518,985
減価償却累計額	△188,570	△197,786
建物及び構築物(純額)	245,198	321,198
機械及び装置	139,342	129,690
減価償却累計額	△75,518	△86,476
機械及び装置(純額)	63,823	43,213
車両運搬具	20,437	20,437
減価償却累計額	△20,437	△20,437
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	130,425	132,727
減価償却累計額	△106,886	△103,959
工具、器具及び備品(純額)	23,538	28,767
土地	9,000	9,000
リース資産	191,168	144,268
減価償却累計額	△148,186	△115,874
リース資産(純額)	42,982	28,394
建設仮勘定	55,700	—
有形固定資産合計	440,242	430,573
無形固定資産		
ソフトウェア	5,593	5,009
その他	1,638	1,638
無形固定資産合計	7,232	6,647
投資その他の資産		
投資有価証券	582,679	545,033
ゴルフ会員権	162,300	162,300
差入保証金	89,682	117,768
繰延税金資産	3,577	5,958
その他	28,967	28,967
投資その他の資産合計	867,207	860,028
固定資産合計	1,314,682	1,297,249
資産合計	11,224,686	9,497,242

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,703,974	3,717,006
1年内返済予定の長期借入金	696,722	815,988
リース債務	16,293	9,489
未払金	455,338	154,530
未払法人税等	105,592	162,492
前受金	193,104	—
賞与引当金	41,683	42,407
その他	76,863	93,688
流動負債合計	7,289,572	4,995,604
固定負債		
長期借入金	1,135,903	1,419,897
リース債務	39,052	29,562
繰延税金負債	50,074	32,076
資産除去債務	3,318	1,695
固定負債合計	1,228,348	1,483,231
負債合計	8,517,921	6,478,835
純資産の部		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金	292,475	292,475
利益剰余金	1,726,725	2,073,348
自己株式	△200	△259
株主資本合計	2,382,388	2,728,951
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	235,798	209,679
繰延ヘッジ損益	△114	1,568
為替換算調整勘定	34,358	25,459
その他の包括利益累計額合計	270,043	236,708
非支配株主持分	54,333	52,747
純資産合計	2,706,764	3,018,406
負債純資産合計	11,224,686	9,497,242

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	31,375,549	32,685,227
売上原価	28,532,870	29,724,340
売上総利益	2,842,678	2,960,886
販売費及び一般管理費	2,246,800	2,286,664
営業利益	595,878	674,222
営業外収益		
受取利息	741	724
受取配当金	7,948	8,275
為替差益	—	36,208
受取手数料	6,444	6,385
受取補償金	8,084	1,229
補助金収入	—	7,042
その他	2,268	1,710
営業外収益合計	25,487	61,577
営業外費用		
支払利息	10,158	8,429
為替差損	15,702	—
支払補償費	2,073	1,760
その他	259	883
営業外費用合計	28,193	11,073
経常利益	593,171	724,726
特別利益		
固定資産売却益	—	7,651
特別利益合計	—	7,651
特別損失		
減損損失	—	30,056
特別損失合計	—	30,056
税金等調整前当期純利益	593,171	702,320
法人税、住民税及び事業税	186,132	243,633
法人税等調整額	△10,009	△13,409
法人税等合計	176,122	230,224
当期純利益	417,049	472,096
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	5,285	△515
親会社株主に帰属する当期純利益	411,763	472,612

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	417,049	472,096
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	65,925	△26,119
繰延ヘッジ損益	7,051	1,682
為替換算調整勘定	12,685	△9,969
その他の包括利益合計	85,661	△34,406
包括利益	502,710	437,690
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	495,323	439,276
非支配株主に係る包括利益	7,387	△1,586

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	363,387	292,475	1,418,905	△129	2,074,638
当期変動額					
剰余金の配当			△103,943		△103,943
親会社株主に帰属する当期純利益			411,763		411,763
自己株式の取得				△70	△70
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	307,820	△70	307,750
当期末残高	363,387	292,475	1,726,725	△200	2,382,388

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	169,873	△7,165	23,775	186,483	46,945	2,308,067
当期変動額						
剰余金の配当						△103,943
親会社株主に帰属する当期純利益						411,763
自己株式の取得						△70
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	65,925	7,051	10,583	83,559	7,387	90,947
当期変動額合計	65,925	7,051	10,583	83,559	7,387	398,697
当期末残高	235,798	△114	34,358	270,043	54,333	2,706,764

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	363,387	292,475	1,726,725	△200	2,382,388
当期変動額					
剰余金の配当			△125,989		△125,989
親会社株主に帰属する当期純利益			472,612		472,612
自己株式の取得				△59	△59
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	346,622	△59	346,563
当期末残高	363,387	292,475	2,073,348	△259	2,728,951

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	其他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	235,798	△114	34,358	270,043	54,333	2,706,764
当期変動額						
剰余金の配当						△125,989
親会社株主に帰属する当期純利益						472,612
自己株式の取得						△59
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△26,119	1,682	△8,898	△33,335	△1,586	△34,921
当期変動額合計	△26,119	1,682	△8,898	△33,335	△1,586	311,641
当期末残高	209,679	1,568	25,459	236,708	52,747	3,018,406

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	593,171	702,320
減価償却費	88,522	57,426
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△630	△1,000
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,161	724
受取利息及び受取配当金	△8,689	△9,000
支払利息	10,158	8,429
減損損失	—	30,056
為替差損益 (△は益)	△7,224	4,271
固定資産売却益	—	△7,651
売上債権の増減額 (△は増加)	257,228	771,539
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△106,233	7,286
未収入金の増減額 (△は増加)	273,448	99,736
前渡金の増減額 (△は増加)	△190,646	178,699
仕入債務の増減額 (△は減少)	378,068	△1,985,656
未払金の増減額 (△は減少)	△369,043	△300,518
前受金の増減額 (△は減少)	174,426	△193,104
その他	5,013	△12,248
小計	1,100,730	△648,685
利息及び配当金の受取額	8,689	9,000
利息の支払額	△10,046	△8,384
法人税等の支払額	△208,805	△184,724
営業活動によるキャッシュ・フロー	890,568	△832,793
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△67,430	△83,974
有形固定資産の売却による収入	—	11,219
無形固定資産の取得による支出	—	△1,638
差入保証金の差入による支出	—	△1,780
差入保証金の回収による収入	—	901
投資活動によるキャッシュ・フロー	△67,430	△75,271
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	350,000	1,200,000
長期借入金の返済による支出	△831,962	△796,741
リース債務の返済による支出	△32,238	△13,948
自己株式の取得による支出	△70	△59
配当金の支払額	△103,878	△126,447
財務活動によるキャッシュ・フロー	△618,148	262,803
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,690	△9,458
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	219,681	△654,721
現金及び現金同等物の期首残高	1,820,721	2,040,402
現金及び現金同等物の期末残高	2,040,402	1,385,681

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは事業内容及び市場の類似性を考慮し、下記の2つを報告セグメントとしております。

区分	主要商品又は事業内容
卸売事業	飲料、食品の製造用原料・資材及び製品の国内販売、輸出入取引 (ビタミン類, 食品添加物, 殺菌乳, 野菜果実加工品, 飲料製品等)
製造販売事業	アイスクリーム等の製造販売

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメント間の取引は、一般的な商取引と同様の条件で行っております。

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則及び手続に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務 諸表計上 額 (注)3
	卸売事業	製造販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	30,301,726	263,916	30,565,642	809,906	31,375,549	—	31,375,549
セグメント間の内部売上 高又は振替高	190,858	456,257	647,115	—	647,115	△647,115	—
計	30,492,585	720,173	31,212,758	809,906	32,022,665	△647,115	31,375,549
セグメント利益	578,394	7,334	585,728	11,126	596,855	△976	595,878
セグメント資産	10,973,917	611,852	11,585,770	123,769	11,709,539	△484,853	11,224,686
その他の項目							
減価償却費	50,036	35,816	85,852	2,669	88,522	—	88,522
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	2,424	63,324	65,749	—	65,749	—	65,749

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務 諸表計上 額 (注)3
	卸売事業	製造販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	31,977,958	210,672	32,188,630	496,597	32,685,227	—	32,685,227
セグメント間の内部売上 高又は振替高	195,002	495,986	690,988	—	690,988	△690,988	—
計	32,172,960	706,658	32,879,618	496,597	33,376,216	△690,988	32,685,227
セグメント利益	663,688	921	664,609	7,862	672,472	1,750	674,222
セグメント資産	9,375,213	513,590	9,888,803	57,791	9,946,595	△449,352	9,497,242
その他の項目							
減価償却費	18,871	36,503	55,374	2,051	57,426	—	57,426
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	15,199	68,449	83,648	—	83,648	—	83,648

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含めない事業セグメントであり、コンビニエンスストア小売業を営んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益

(単位:千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	△976	1,750
合計	△976	1,750

セグメント資産

(単位:千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	△484,853	△449,352
合計	△484,853	△449,352

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の開示をしているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社伊藤園	4,862,731	卸売事業

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の開示をしているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社伊藤園	6,485,948	卸売事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：千円)

	卸売事業	製造販売事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	—	30,056	—	—	30,056

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	842.11円	941.57円
1株当たり当期純利益金額	130.73円	150.05円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	411,763	472,612
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	411,763	472,612
期中平均株式数(株)	3,149,762	3,149,734

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,669,877	1,258,892
受取手形	65,227	92,365
売掛金	5,067,840	4,258,370
商品及び製品	1,653,088	1,611,013
未着商品	573,471	468,898
前渡金	190,684	11,985
前払費用	23,968	23,944
関係会社短期貸付金	28,400	26,200
未収入金	182,672	87,042
為替予約	—	2,260
その他	4,585	3,844
貸倒引当金	△5,400	△4,600
流動資産合計	9,454,414	7,840,217
固定資産		
有形固定資産		
建物	159,413	148,506
減価償却累計額	△93,209	△91,404
建物(純額)	66,203	57,101
機械及び装置	7,500	16,680
減価償却累計額	△7,499	△9,687
機械及び装置(純額)	0	6,992
車両運搬具	12,032	12,032
減価償却累計額	△12,032	△12,032
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	57,698	61,277
減価償却累計額	△42,373	△39,182
工具、器具及び備品(純額)	15,324	22,095
土地	9,000	9,000
リース資産	46,900	—
減価償却累計額	△40,842	—
リース資産(純額)	6,057	—
有形固定資産合計	96,585	95,189
無形固定資産		
ソフトウェア	5,593	3,698
その他	1,158	1,158
無形固定資産合計	6,752	4,857
投資その他の資産		
投資有価証券	582,679	545,033
関係会社株式	304,595	304,595
関係会社長期貸付金	325,000	294,400
ゴルフ会員権	162,300	162,300
差入保証金	80,346	107,526
その他	28,967	28,967
投資その他の資産合計	1,483,888	1,442,822
固定資産合計	1,587,226	1,542,868
資産合計	11,041,641	9,383,086

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,680,381	3,700,498
1年内返済予定の長期借入金	696,723	815,988
リース債務	6,153	—
未払金	437,405	145,160
未払費用	13,743	10,537
未払法人税等	105,296	162,196
前受金	193,104	—
預り金	14,292	13,649
賞与引当金	41,683	42,407
為替予約	164	—
関係会社清算損失引当金	—	23,322
その他	28,803	49,809
流動負債合計	7,217,750	4,963,570
固定負債		
長期借入金	1,135,903	1,419,897
繰延税金負債	49,079	31,074
資産除去債務	3,318	1,695
固定負債合計	1,188,300	1,452,667
負債合計	8,406,051	6,416,237
純資産の部		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金		
資本準備金	288,387	288,387
資本剰余金合計	288,387	288,387
利益剰余金		
利益準備金	2,465	2,465
その他利益剰余金		
別途積立金	50,000	50,000
繰越利益剰余金	1,695,865	2,051,620
利益剰余金合計	1,748,330	2,104,085
自己株式	△200	△259
株主資本合計	2,399,905	2,755,600
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	235,798	209,679
繰延ヘッジ損益	△114	1,568
評価・換算差額等合計	235,684	211,248
純資産合計	2,635,589	2,966,848
負債純資産合計	11,041,641	9,383,086

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	30,644,812	32,085,550
売上原価		
商品期首たな卸高	1,556,611	1,653,088
当期商品仕入高	28,218,145	29,364,145
合計	29,774,756	31,017,233
商品期末たな卸高	1,653,088	1,611,013
商品売上原価	28,121,668	29,406,220
売上総利益	2,523,143	2,679,330
販売費及び一般管理費	1,974,451	2,001,952
営業利益	548,692	677,377
営業外収益		
受取利息	2,949	2,793
受取配当金	7,948	8,275
為替差益	—	37,526
受取手数料	6,444	6,385
受取補償金	8,035	1,224
その他	945	1,178
営業外収益合計	26,322	57,383
営業外費用		
支払利息	7,819	6,483
為替差損	15,837	—
支払補償費	2,073	444
その他	147	341
営業外費用合計	25,878	7,269
経常利益	549,136	727,492
特別利益		
固定資産売却益	—	7,651
特別利益合計	—	7,651
特別損失		
関係会社清算損失引当金繰入額	—	23,322
特別損失合計	—	23,322
税引前当期純利益	549,136	711,820
法人税、住民税及び事業税	177,646	237,296
法人税等調整額	△9,286	△7,219
法人税等合計	168,360	230,076
当期純利益	380,776	481,743

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金				利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	363,387	288,387	288,387	2,465	50,000	1,419,032	1,471,497	△129	2,123,142
当期変動額									
剰余金の配当						△103,943	△103,943		△103,943
当期純利益						380,776	380,776		380,776
自己株式の取得								△70	△70
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									—
当期変動額合計	—	—	—	—	—	276,833	276,833	△70	276,763
当期末残高	363,387	288,387	288,387	2,465	50,000	1,695,865	1,748,330	△200	2,399,905

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
当期首残高	169,873	△7,165	162,708	2,285,850
当期変動額				
剰余金の配当				△103,943
当期純利益				380,776
自己株式の取得				△70
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	65,925	7,051	72,976	72,976
当期変動額合計	65,925	7,051	72,976	349,739
当期末残高	235,798	△114	235,684	2,635,589

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								自己株式	株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			利益剰余金合計			
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金					
					別途積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	363,387	288,387	288,387	2,465	50,000	1,695,865	1,748,330	△200	2,399,905	
当期変動額										
剰余金の配当						△125,989	△125,989		△125,989	
当期純利益						481,743	481,743		481,743	
自己株式の取得								△59	△59	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									-	
当期変動額合計	-	-	-	-	-	355,754	355,754	△59	355,695	
当期末残高	363,387	288,387	288,387	2,465	50,000	2,051,620	2,104,085	△259	2,755,600	

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
当期首残高	235,798	△114	235,684	2,635,589
当期変動額				
剰余金の配当				△125,989
当期純利益				481,743
自己株式の取得				△59
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△26,119	1,682	△24,436	△24,436
当期変動額合計	△26,119	1,682	△24,436	331,258
当期末残高	209,679	1,568	211,248	2,966,848